



2022年度 活動報告

◆ 第6回 ダイバーシティシンポジウム ※オンライン開催

開催日:2022年7月5日(火)

148名
参加

第6回ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)シンポジウム「未来へ向かう地域社会のダイバーシティ~事業5年間を振り返って~」を開催しました。

基調講演の講師には、法政大学前総長である田中優子氏を迎え、「多様性を生き抜くために」と題して、ご講演いただきました。まず、地域もダイバーシティ&インクルージョンの大事な一つの要であり、地域の特色や産業力こそが全国を支えていることを、主として江戸時代における私塾や綿作などの歴史を紹介しながら説明されました。

次に、法政大学総長としての経験から、改革のためには多様な声に耳を傾け、周りから助けを得ることに躊躇しないことが重要で、リーダーに危機意識や使命感がなければ改革もイノベーションも起こらないとお話がありました。総長は多様な意見の通り道であり学内外の様々な声が入ってくるような仕組みを作り、様々な声を聴き受け入れることで社会をよくする目的を果たせるということを示されました。また、女性活躍のためにトップがなすべきこととして、①組織のメンバーに明確にビジョンを示し宣言をする、②ビジョンでは大きな乖離がある現状を把握し、課題を明確にする、③その方向に行くための行動計画を示す、④その後の経過と結果を把握し行動計画を見直すことが、必要であるとお話がありました。

さらに、女性が自由を生き抜くために必要なこととして、①個人が自らの能力と個性を発揮することを目標にする、②女性特有の自己肯定感の低さを「自ら決める」ことを積み重ねることで克服する、③日本社会における「家族」「母性」という言葉の意味を歴史的=相対的に捉え自分なりの考えをもつ、④その考えから求める社会像を明らかにしておき、投票行動などで意思表示をする、の4つを挙げられ、基調講演を締めくくられました。

その後、本事業5年間の総括としての活動報告を大分工業高等専門学校、フドーキン醤油(株)、三和酒類(株)、三井住友建設(株)、大分大学から報告しました。

また、トークセッションでは、女性管理職増加のための取組や、男女共同参画についての意識のジェネレーションギャップについて、大分大学工学部4年・宮本歩宝さんと経済学部4年・佐保太晟さんも交えて議論しました。

今回のシンポジウムを通して、これまでの5年間の活動の成果と課題を改めて見つめ直すとともに、これからも地域社会でのダイバーシティを推し進めていくための、多くの示唆とビジョンを得ることができました。



参加者アンケートから

- 学校や企業が男女平等を促進する活動をしているのは知っていましたが、今回のシンポジウムで具体的な内容が知れてよかったです。トークセッションも田中優子先生をはじめとした多様な企業の方々真剣な意見を聞いて勉強になりました。
- 多様性とは、互いに認め合うことだけでなく、男女共同参画分野においては、変化を恐れずに変化を受け入れる、変化していくことが重要であるということは目からうろこ的な気付きでした。
- トークセッションで『多様性を認める』だけで終わるのではなく、その先どうするか考える。各人が自身の態度や考え、どの方向へ変化することなのか考え行動することが大事」と田中先生が言われた事が、まさに今回のシンポジウムの「未来へ向かう地域社会のダイバーシティ/多様性を生き抜くために」に合致して響きました。自分が求める変化は何なのか、考えさせられたシンポジウムでした。

◆ 英語論文投稿支援

募集期間:2022年6月1日(水)~2023年1月31日(火)

9名
採択

女性研究者の研究力向上を図るため、国際的学術誌への論文投稿を促進するために必要な、ネイティブ校正費または論文投稿費について、8万円を上限に補助する事業です。2022年度は、9名の女性研究者へ支援を行いました。

◆ 第5回 共同研究報告会 ※オンライン開催

開催日:2023年2月8日(水)

26名
参加

大分大学、大分工業高等専門学校、フドーキン醤油(株)、三和酒類(株)、三井住友建設(株)が共同で行っている女性研究者を代表とした産学連携共同研究について5回目となる報告会を実施しました。共同研究の進捗状況や成果について研究者より報告がありました。

◆ 科研費獲得セミナー ※オンライン開催

67名
参加

開催日:2022年5月24日(火)

松下幸之助氏(大分大学研究マネジメント機構統括URA・教授)を講師に迎え、科研費獲得のためのセミナーを開催しました。科研費の審査の仕組みはもちろん、科研費申請書作成方法や具体的なノウハウも学びました。また、後日、期間限定でオンデマンド配信も行いました。



受講者アンケートから

- 本日のセミナーでは非常に有用な情報を数多く得ることができました。
- 科研費公募開始前の早い時期にやっていただけて助かりました。
- どのような視点から審査されているかなど、裏事情などがとても参考になりました。



◆ 第9回 異業種交流会

24名
参加

開催日:2022年12月2日(金) 場所:経済学部第一会議室

大分大学教育支援課長であり、また大分大学大学院経済学研究科博士前期課程学生でもある高橋かおり氏が話題提供者となり、異業者交流会を開催しました。3年ぶりの対面開催ができたことで、異なる企業や職種の方、また大学生が本音で語り合い、多くの新しい気づきがありました。



参加者アンケートから

- 普段なかなかお話しすることのできない方々とテーマに沿ってディスカッションをするという貴重な経験をさせていただき、とても有意義な時間となりました。参加してよかったです。
- 高橋さんのお話をお聞きして何事もまずはやってみることが大切だと思います。とてもポジティブな気持ちになれる貴重な機会になりました。



◆ 第4回 おおいた女性人財育成プログラム ※オンライン開催

開催日

2022年6月3日(金)	14名参加	2022年7月27日(水)	10名参加
2022年6月17日(金)	12名参加	2022年8月8日(月)	12名参加
2022年6月29日(水)	14名参加	2022年8月24日(水)	10名参加
2022年7月15日(金)	8名参加	2022年9月5日(月)	11名参加



岸智子氏(福岡女子大学学び直しプログラムコーディネーター)を講師に迎え第4回目となる「おおいた女性人財育成プログラム」を実施しました。全8回(1回1時間30分)のプログラムの中で、対話を通して他者と自分を知ることによって自分の価値観を探索し、実現したい世界や解決したい課題を設定します。各人の実現したい世界や解決策をアイデア発想法によってストーリーを創出することで、一步を踏み出すまでを、グループワークを中心に行いました。職業も年齢も多様な女性達が、率直に本音で語り合うことによりお互いを刺激し合い、多様な価値観に触れるとともに自分自身を知る機会となりました。



受講者アンケートから

- 毎回前向きになれるプログラムでした。まさに人間力が高まったと思います。
- これまで異業種・異職種の方との交流の機会はありませんでした。様々な価値観があることに「気づき」があると同時に、共感しあえた時には「喜び」がありました。
- いろいろな方との交流を通し、また岸先生の講義を受け、新しい自分が見えてきました。今後は、前向きに進めそうです。

◆ 第2回 外部評価委員会 ※オンライン開催 開催日:2022年9月15日(木)

本事業最終年度にあたり第2回外部評価委員会(委員長:(株)キャリアン代表取締役・河野真理子氏)を開催しました。4名の委員から中間評価以降の活動についてご意見をいただき、非常に高い評価をいただくとともに、現在の達成度と課題を見つめ直す貴重な機会となりました。本事業終了後も引き続き地域社会とともにダイバーシティ推進のため活動していきます。



編集・発行元



国立大学法人 大分大学 ダイバーシティ推進本部

〒870-1192 大分県大分市大字旦野原700番地 TEL.097-554-7339/097-554-7337

E-mail▶fsupport@oita-u.ac.jp https://www.fab.oita-u.ac.jp/